



平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブレインパッド

コード番号 3655 URL <http://www.brainpad.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草野 隆史 (戸籍名: 高橋 隆史)

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 池田 直紀 TEL 03-6721-7001

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績 (平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	1,828	30.6	112	15.1	93	16.4	33	△23.0
25年6月期第3四半期	1,400	—	97	—	80	—	44	—

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 34百万円 (△20.7%) 25年6月期第3四半期 43百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	5.08	4.86
25年6月期第3四半期	6.68	6.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第3四半期	1,809	1,124	62.0
25年6月期	1,452	1,082	74.3

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 1,121百万円 25年6月期 1,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想 (平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

平成26年6月期の業績予想につきましては、売上高と営業利益は平成25年6月期を上回ると見込んでおります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ミディー、除外 1社 （社名）－

（注）詳細は、添付資料P. 4 「2. (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年6月期3Q	6,706,932株	25年6月期	6,605,016株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	34株	25年6月期	34株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年6月期3Q	6,674,984株	25年6月期3Q	6,586,428株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の緩やかな回復を背景に、景気の回復傾向が続きました。円安による輸出採算の向上と内需回復による企業収益の改善により設備投資も緩やかな増加傾向にあり、国内のITサービス市場は低成長ながらも、緩やかに拡大を続けております。

このような中、当社グループは、ビッグデータ分析のリーディングカンパニーとして、データ分析に関連する3事業をワンストップで展開できる強みを活かし、3事業横断型の提案による案件の大型化および幅広い業種にわたる豊富な導入実績を活かした新規顧客開拓による既存事業の伸長と、中長期的な成長目標の実現に向けた事業領域の拡大に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、営業部門と各事業部門との連携強化による既存案件の継続・拡大および新規案件の獲得を推し進めると同時に、引き続き新規事業の立ち上げに注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,828,201千円（前年同四半期比30.6%増）、営業利益112,494千円（前年同四半期比15.1%増）、経常利益93,203千円（前年同四半期比16.4%増）、四半期純利益33,896千円（前年同四半期比23.0%減）となりました。

続きまして、セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。また、従来の「ASP関連事業」を「マーケティングプラットフォーム事業」に名称変更しております。

(アナリティクス事業)

アナリティクス事業は、企業の有する大量データを分析するデータマイニングと、その分析結果に基づく企業行動の最適化支援を、幅広い顧客向けに提供している当社グループの主要事業です。

当第3四半期連結累計期間におきましては、営業部門との連携強化と積極的なプリセールス(注1)によりデータ分析の受託案件を安定的に獲得すると同時に、新規事業である教育ビジネスにおいて、個人向け講座の開催に加え、法人向けカスタマイズプログラムの販売が好調に推移いたしました。また、当社が販売代理店権を有する「Crimson Hexagon ForSight™ Platform (クリムゾンヘキサゴン・フォーサイト・プラットフォーム)」がTwitter Japan株式会社より「Twitter公認製品プログラム」に公式認定されたことを契機に、同製品のライセンス販売に付随するソーシャルメディアデータの分析サービスの立ち上げと販売強化に着手いたしました。

この結果、売上高は601,833千円（前年同四半期比18.5%増）、セグメント利益は85,792千円（前年同四半期比50.5%減）となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業は、顧客企業に対して、データ分析および分析結果に基づくマーケティング活動に必要なソフトウェアのライセンス提供とシステム開発を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、「ビッグデータ」トレンドによるBI(注2)・BA(注3)ツールの需要拡大を商機とし、前期に販売代理店契約を締結した「SAP InfiniteInsight® (エス・エー・ピー インフィニット インサイト、データマイニング・ソフトウェア)」を中心に、年度末需要の取り込みを目的とする積極的な営業活動を推進いたしました。

この結果、売上高は645,963千円（前年同四半期比48.5%増）、セグメント利益は179,771千円（前年同四半期比144.7%増）となりました。

(マーケティングプラットフォーム事業)

マーケティングプラットフォーム事業（第1四半期連結会計期間より、従来の「ASP関連事業」から事業セグメント名を変更）は、当社が着目したデータ分析系のアルゴリズムから独自性の強いソフトウェアを自社開発し、ASPサービス(注4)による顧客企業への提供と、その保守業務等を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主力サービスである「Rtoaster (アールトースター、Webプラットフォーム・レコメンドエンジン)」のメジャーバージョンアップにより既存契約の継続と新規顧客の獲得を推進するなど、もう一つの主力サービスである「L2Mixer (エルツーミキサー、リスティング広告最適化ツール)」とともに、ストックビジネス(注5)の伸長による安定的な収益確保に取り組みました。

この結果、売上高は580,404千円（前年同四半期比27.0%増）、セグメント利益は206,309千円（前年同四半期比12.4%増）となりました。

(注1) システムの構築やソフトウェア製品の販売・導入の際に、営業担当者に同行し、技術的な知識を用いて営業担当者をサポートすること。

(注2) ビジネスインテリジェンス (Business Intelligence) の略。企業等の組織のデータを、収集・蓄積・分析・報告することで、経営上の意思決定に役立てる手法や技術のこと。

(注3) ビジネスアナリティクス (Business Analytics) の略。企業等の組織のデータを最大限に活用し、将来起こり得る事態を予測することによって、経営上の意思決定に役立てること。

(注4) アプリケーションソフトの機能をインターネットを通じて顧客に提供すること。

(注5) 顧客数に応じて比例的に安定収益を得られるビジネスのこと。「Rtoaster」「L2Mixer」は、ASPサービスの月額利用料や保守料等が売上の中心を占める。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、935,688千円となり、前連結会計年度末に比べ20,749千円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金の減少100,446千円、流動資産その他の増加46,532千円、仕掛品の増加35,991千円によるものであります。

また固定資産の残高は、873,727千円となり、前連結会計年度末に比べ377,300千円増加しました。これは主に投資その他の資産の増加108,126千円、有形固定資産の増加89,126千円、無形固定資産その他の増加73,768千円、のれんの増加66,138千円、ソフトウェアの増加40,140千円によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ356,551千円増加し、1,809,415千円となりました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、502,103千円となり、前連結会計年度末に比べ142,117千円増加しました。これは主に短期借入金の増加130,000千円、1年内返済予定の長期借入金の増加39,000千円、未払金の減少34,800千円によるものであります。

また固定負債の残高は、183,188千円となり、前連結会計年度末に比べ172,339千円増加しました。これは主に長期借入金の増加138,533千円、資産除去債務の増加32,887千円によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ314,456千円増加し、685,291千円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,124,123千円となり、前連結会計年度末に比べ42,094千円増加しました。これは主に利益剰余金の増加33,896千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後も、ビッグデータ活用に対する関心の高まりにより、データ分析関連ビジネスを取り巻く市場は成長を続けるものと予想されます。このような中、当社グループの業績は、売上高、営業利益ともに前年を上回るものと見込んでおります。

(業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、経済環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。)

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したBrainpad US Inc. 及び、新たに株式を取得した株式会社ミディアの両社を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度末 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	368,412	370,779
受取手形及び売掛金	500,360	399,914
仕掛品	1,005	36,997
繰延税金資産	8,993	3,798
その他	77,665	124,198
流動資産合計	956,438	935,688
固定資産		
有形固定資産	105,466	194,593
無形固定資産		
ソフトウェア	263,542	303,682
のれん	—	66,138
その他	14,831	88,599
無形固定資産合計	278,374	458,421
投資その他の資産	112,585	220,711
固定資産合計	496,426	873,727
資産合計	1,452,864	1,809,415
負債の部		
流動負債		
買掛金	68,474	62,861
短期借入金	—	130,000
1年内返済予定の長期借入金	9,996	48,996
未払金	60,461	25,661
未払費用	106,559	105,989
前受収益	51,332	61,378
未払法人税等	13,510	37,355
その他	49,651	29,861
流動負債合計	359,986	502,103
固定負債		
長期借入金	10,849	149,382
資産除去債務	—	32,887
その他	—	918
固定負債合計	10,849	183,188
負債合計	370,835	685,291

(単位：千円)

	前連結会計年度末 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	327,317	330,731
資本剰余金	304,017	307,431
利益剰余金	446,080	479,977
自己株式	△23	△23
株主資本合計	1,077,392	1,118,118
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,149	3,075
その他の包括利益累計額合計	2,149	3,075
新株予約権	2,487	2,930
純資産合計	1,082,029	1,124,123
負債純資産合計	1,452,864	1,809,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,400,111	1,828,201
売上原価	767,327	1,088,463
売上総利益	632,784	739,738
販売費及び一般管理費	535,073	627,243
営業利益	97,710	112,494
営業外収益		
受取利息	126	130
受取配当金	452	—
その他	28	5,109
営業外収益合計	608	5,239
営業外費用		
支払利息	943	1,225
支払手数料	15,450	19,597
その他	1,858	3,708
営業外費用合計	18,252	24,531
経常利益	80,066	93,203
特別利益		
新株予約権戻入益	—	61
特別利益合計	—	61
税金等調整前四半期純利益	80,066	93,264
法人税、住民税及び事業税	34,179	74,817
法人税等調整額	2,915	△15,332
法人税等合計	37,094	59,484
少数株主損益調整前四半期純利益	42,972	33,779
少数株主損失(△)	△1,056	△117
四半期純利益	44,028	33,896

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	42,972	33,779
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	916	1,043
その他の包括利益合計	916	1,043
四半期包括利益	43,888	34,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,807	34,823
少数株主に係る四半期包括利益	△919	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アナリティクス事業	ソリューション事業	マーケティングプラットフォーム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	507,970	435,038	457,102	1,400,111	—	1,400,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	507,970	435,038	457,102	1,400,111	—	1,400,111
セグメント利益	173,435	73,475	183,542	430,453	△332,742	97,710

(注) 1 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用332,742千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アナリティクス事業	ソリューション事業	マーケティングプラットフォーム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	601,833	645,963	580,404	1,828,201	—	1,828,201
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	601,833	645,963	580,404	1,828,201	—	1,828,201
セグメント利益	85,792	179,771	206,309	471,872	△359,378	112,494

(注) 1 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用359,378千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは当期首に、事業領域やサービス内容の拡充に伴う社内体制の変更を行いました。これは、商材やプロジェクト単位での収益管理に従来以上に重点を置き、より効果的な事業管理を行うことを目的とするものです。これに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「アナリティクス事業」「ソリューション事業」「ASP関連事業」の3区分から、「アナリティクス事業」「ソリューション事業」「マーケティングプラットフォーム事業」の3区分に変更し、各セグメントに帰属する商材・サービスの一部組み替えを行いました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。